

ぱーとなー

2009年8月

第92号

耳原総合病院の理念

耳原総合病院はこんな医療をめざしています

○ 安全・安心・信頼の医療

私たちは患者様とともに力を合わせて医療をすすめます

○ 無差別平等の医療

私たちは人権を尊重した医療をすすめます

○ 患者負担の少ない医療

私たちは室料差額はいただきません

○ 地域とともに歩む専門職の育成

人権感覚をもつ専門職を養成します

◎ 耳原総合病院の基本方針は「すべての方に 24時間 365 日、質の高い医療を、地域と共に提供し続ける」ことです

ストップ・ザ・医療崩壊シンポジウム 7/19



去る7月19日（日）堺市民会館大ホールにおきまして、「ストップ・ザ・医療崩壊 7.19 シンポジウム」が開かれました。大阪南部地域では、病院の閉鎖・縮小が相次ぎ、医療崩壊は一層深刻さを増しています。

こうした状況を、医療関係者と市民がともに分析し打開策を切り開くために開かれたものです。一般市民の方々、医療関係者、患者様など約 900 名が参加しました。

記念講演は、邊見公雄氏（全国自治体病院協議会会長・赤穂市民病院名誉院長）と本田宏氏（済生会栗橋病院副院長・「NPO 法人医療制度研究会」副理事長）にご講演いただき、先進国の中でも極端に少ない日本の医師数の実態や、全国各地に広がる自治体病院の崩壊の現状などが、生々しく報告されました。また、多彩なパネラーによるディスカッションでも、日本の医療が抱える問題が、さまざまな角度から検証されました。

～パネラーのご紹介～

（※50 音順）

芝池 浩氏

（富田林市消防本部消防指令補）

瀬戸 嗣郎氏

（岸和田市民病院院長）

樋上 忍氏

（堺市 医師）

古河 洋氏

（市立堺病院院長）

邊見公雄氏

（全国自治体病院協議会会長・赤穂市民病院名誉院長）

本田 宏氏

（済生会栗橋病院副院長・「NPO 法人医療制度研究会」副理事長）

森口 英世氏

（富田林医師会長）

☆司会

松本 久

（耳原総合病院院長）



多彩なパネラーを迎えてのディスカッションでは日本の医療の深刻な問題が浮き彫りになりました



医療・福祉を守る連帯をひろげよう！

今回のシンポジウムのよびかけ人のひとりである当院院長の松本 久より、今回の企画を取り組んだ意義を紹介致します。



勤務医不足、病院の閉鎖や診療科の閉鎖、救急患者の受け入れ困難など、医療供給体制の崩壊は、もう限界に近づいています。医療費が国を滅ぼすという誤った考え方により、医学部定数が減らされ続けた結果、人口当たりの日本の医師数は世界の 60 数番目。診療報酬は、この 7 年間減らされ続け赤字病院が急激に増加しています。

特に南大阪の公立病院は、存続の危機に立たされています。こういった危機の中、医師会・保険医協会・大学医学部長・基幹病院の病院長など幅広い層の医師が呼びかけ人となり、ストップ・ザ・医療崩壊のシンポジウムを開催しました。

最大の目的は、医療の現状と現場の苦難を市民の皆さまと共有すること、そして、医療・福祉とともに守る連帯の輪を広げること、ここに今回のシンポジウムの最大の目的がありました。マスコミを含めて今、行動を起こさなければ再起不能の状態にもなりかねません。一人ひとりが、学びあい、そして医療・福祉を守る運動に立ち上がってほしいと、強く願います。

耳原総合病院地域医療室
電話 072-241-0324
Fax ①072-241-0208
Fax ②072-241-0670

☆☆☆お電話で患者さまのご都合に合わせて予約いただけます。

折り返し F A X にて予約票をお送りします。☆☆☆

☆☆☆事前にカルテを準備してお待ちします。

カルテ作成に必要な情報を F A X して下さい。☆☆☆

☆☆☆予約当日、患者さまが受診の際

① 保険証②診療情報提供書③上記予約票をご持参下さい。☆☆☆